

編集後記

(65巻 第3号 2019年3月)

間もなく「平成」の時代が終わろうとしている。昭和天皇が崩御され、新年号が決まった時、私は大学院への入学直前で、小渕さんが「平成」という文字をテレビ発表した場面を鮮明に覚えている。以来、ニュージーランド留学、京都大学助手、秋田大学助教授を経て、現職に就いてから20年が経過している。2度の震災や数多くの自然災害もあり、大変な事も多かったが、私にとっての「平成」とは、泌尿器科医としての私の成長の過程を見守ってくれた時代だったように思う。

皆さんにとって「平成」はどのような時代だったのでしょうか。そして、次の年号は何になるのでしょうか。いずれにせよ、災害のない平和な時代であってほしいと願っています。

(小川 修)